THE KOBECCO

JUNE No.326

1988 6月刊神戸っ子

神戸っ子　昭和40年1月20日　第三種郵便物認可
昭和63年6月1日印刷　通巻326号　昭和63年6月1日発行
毎月1回1日発行

CLASSICAL
MODERN

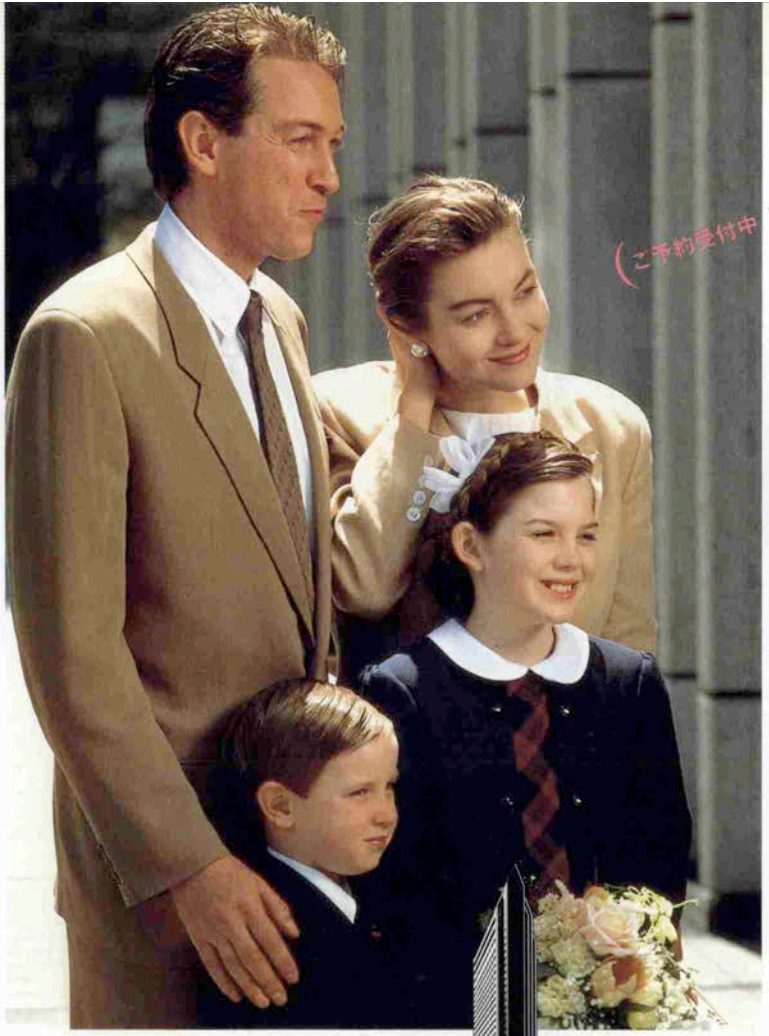
潮風と戯れる、南国の妖精。

夏の日の誘惑は、
サンバのリズムがBGM。
誰よりも輝いて、
ドラマチック・アフェア。
トロピカルな
原色気分で、季節をひとりじめ。

Miss
Chloé

BENIYA
KOBE OSAKA TOKYO

本店	三宮センター街	☎078(332)2135～6
エルベ店	センタープラザ1F	☎078(332)2829
レノマ店	三宮センター街	☎078(332)0780・0788
シャコック店	三宮本通り	☎078(332)4858
さんちか店	さんちかローザアベニュー	☎078(321)2678



(ご予約受付中 TEL078-291-1121(代))

人生のKeyを、もうひとつ。

新神戸オリエンタルホテル。9/29 Open。

新神戸オリエンタルホテル
新神戸開発株式会社

開設準備事務所
〒650神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館8F
山陽新幹線・地下鉄・北神急行「新神戸駅」と直結

●所在地/神戸市中央区北野町1丁目 ●客室数/600室 ●宴会場数/約2,000㎡の大宴会場、中・小宴会場等、計24室 ●レストラン・バー/計10店 ●駐車場/約750台収容

● 木下真珠 ●

創業50周年特別謝恩会

ご案内

6月18日(土)19日(日)10:00a.m.～7:00p.m.

於三宮ターミナルホテル(4F)

創業50周年を記念して大珠9mm
ネックレスを超ご奉仕価格で、
特別販売いたします。

KINOSHITA PEARL CO.,LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

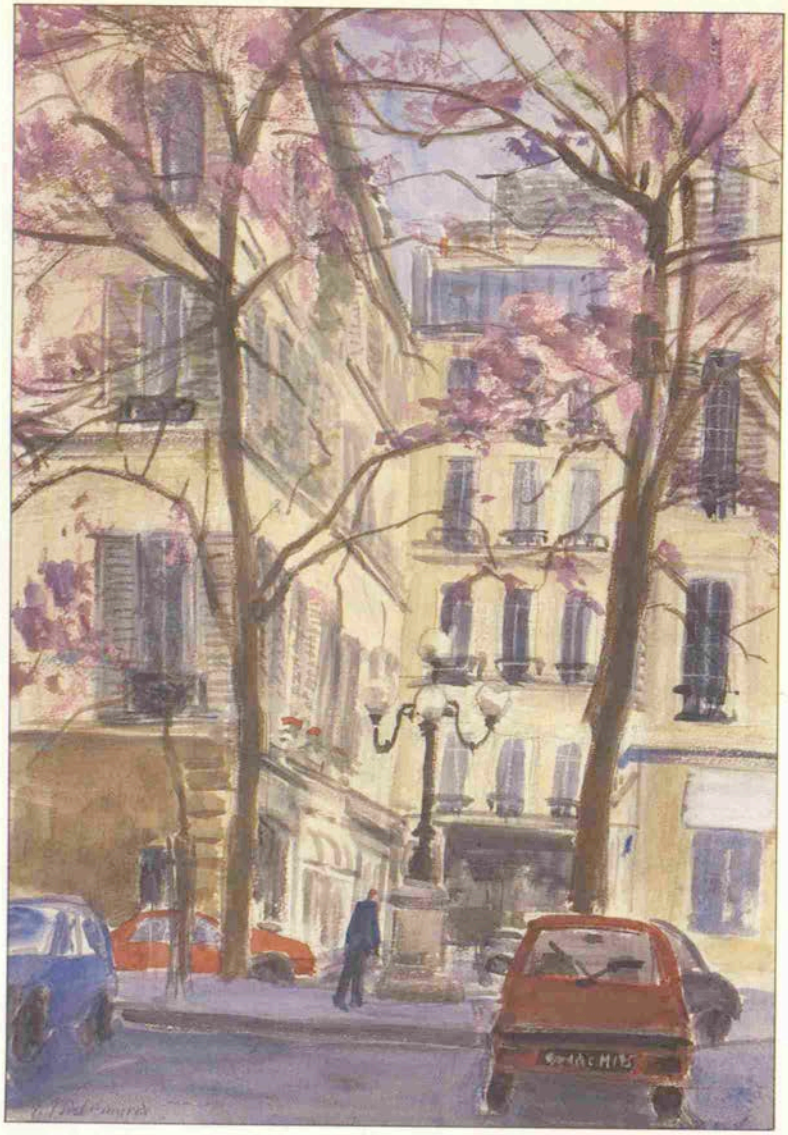
〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)
TEL (078)221－3170
10:00AM～6:00PM 無休

東京／赤坂・銀座・青山　大阪／心斎橋

Second Cover ● ヨーロッパの街角から(6)

ドラクロワ美術館前の広場にて(1988年)

絵／西村　功



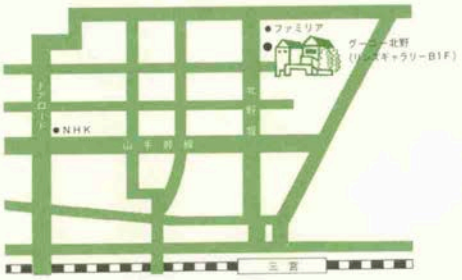
北野坂リンズギャラリーBIFへ

Gooniy KITANO 新店舗(移転) 6/21 OPEN

初夏の風さわやかなこの6月、新天地リンズギャラリーにての移転営業となりました。今後共、より一層皆様に愛されるグーニー作りに励むつもりですので、よろしくお願い致します。

尚、現在の北野林マンションにての営業は6月15日まで、6月21日よりリンズギャラリーにて営業を開始致します。

また、この新店舗オープンにおきましてのローズガーデンオーナーのひとかたならぬ御協力に、グーニー一同、お客様共々、心より感謝を申し上げます。



RESTAURANT Gooniy KITANO

中央区北野町2丁目7-18
リンズギャラリーB1F
☎242-2562

Tuchheim's
Für große und kleine Feinschmecker
Nähe Frankfurt am Main
Seit 1921

お届けします、夏の彩り。

ユーハイムの、ちょっと素敵な気分をあなたに。

南々国の海、潮騒、入道雲、ひまわり、珊瑚礁…
夏を彩る素敵なものたちと、今年はもう出会いましたか。
そんな季節の喜びを、ユーハイムでは夏らしいデザート
中心の、おしゃれなギフトボックスに詰め合せました。
大切なあの方に心をこめてお届けしませんか。

ユーハイム

指を飾るカクテルです。

Tajima

宝飾店 タジマ

元町２丁目　TEL 331—5761代表

気さくな才女——羽多悦子

〈彫刻家〉　カメラ・米田定蔵

ホロンピアで依頼制作された少女像が、早くも評判を呼んでいる。本人の肩書きは、日本現代美術家連盟常任理事、神戸女子短期大学助教授、近畿地区教員養成系大学美術教育協議会会員という、かなりいかめしいものであるが、実際は、大変気さくな女性である。

生まれは奇遇なことに、ホロンピア会場の三田市。神戸女子短期大学と武蔵野美術短期大学を卒業。在学中から才能を発揮し、昭和41年にコンクールに初入選してからは、名だたるコンクールに次々と入選、昨年は日本選抜美術展において、優秀賞を授賞した。

「形にとらわれず、人間の奥深い所にある心を表現したい。」との言葉どおり、少女を中心とした女性像には、女性でしか表わせない恥じらい、淡い憧憬など微妙な感情の揺れが、見事に表現されている。「制作者の内面が、作品に表われるのが恐い。」とのことだが、確かに本人は、少女の純粋な心をそのまま大切に、持ちつづけてきたようだ。

彫刻以外にも絵を書いたり、専門書はもちろんとして、食べ歩きの記事を書いたりと、大変な多才ぶりであるが、「もの好きのB型。」と謙そんする。

最後に、今後の予定をうかがったが「そうねー海外にも…。」と、頼もしい言葉が返ってきた。〈ホロンピアにて〉

● SUMMER GIFT ●

トアロードでセンシブルなお中元を！

COL FASHION PLACE

トアロードTEL. 331-2020

Sanohe

トアロードサノヘTEL. 331-1952

●神戸っ子'88

神戸をオペラの町に

梅田正巳 神戸芸術協会会長

カメラ・池田年男

西宮から一七一号線を車で数分、能登町にそのスタジオがある。〝神芸オペラスタジオ〟、昨年七月の完成だ。関西の歌劇団では初めてのオペラスタジオ、その中を張りのあるバリトンが響く。とても六十三歳とは思えない力溢れる語りにオペラへの熱い情熱が見える。東京芸術大声楽科を卒業し、兵庫県立尼崎北高教諭、武庫川女子大講師を経て、四十四年から神戸山手女子短大音楽科教授に。恩師の東京芸大名誉教授・畑中良輔の助言を得て五十五年、神戸芸術協会を創設、会長に就任した。

「神戸にはもともと〝聚楽館〟というオペラの源泉があるんですよ」という言葉の核に〝ぜひとも神戸をオペラの街に〟という思いがある。「声のエネルギー源はステーキなんです。いい肉が食べられる、そのことは声づくりにとてもいい」。他にも、ファッションがすばらしいこと、流れる空気のコンディションがいいこと等、神戸ほどオペラにとっていい街はない。神戸の街を起点とし「必ずオペラのブームが来る」という確信がある。

昨年の第3回公演「フィガロの結婚」が絶賛を博し、今後の活動に弾みがついた。この6月には日本歌曲の名作シリーズ「日本の抒情」第一回が神戸国際会議場で開かれる。12月には第4回オペラ公演「ヘンデルとグレーテル」が西宮で行なわれる。そのエネルギッシュな活動に「オペラ、命なり」の意気を視た。

（神芸オペラスタジオにて）

ある集い□サロン・ド・ポートピア手編みサロン

ゆったりムードで楽しむニットのおしゃれ

市野木江充子
〈市野木ニッティングスタジオ代表〉

手づくりの良さは、自分の納得のいくまで、手をかけられることでしょう。

そんなこだわりを持つ私のところに、おしゃれなこだわり人間が集って、ここポートピアホテル、サロン・ド・ポートピアで、月に二回、手あみサロンが開かれています。

先日、お客様をお呼びして、ランチを楽しみながら、それぞれ自作自演の発表パーティーをいたしました。

カジュアルなセーターから、はなやかなパーティーブラウスなどこの日をめざして作りあげ、工夫をこらした着こなしで大好評でした。ただ作品を作るだけではなく皆様に見ていただくという緊張の一時を持つ事がおしゃれに研きをかける上で大切だと思います。

ゆったりとしたムードの中で、手あみを楽しみながら、何かほっとする様な気持の良さを大切に、おしゃれなサロンにしたいと思っております。

■サロン・ド・ポートピア事務局
〒650神戸市中央区港島中町6-10-1
☎（078）302-1111㈹

ある集い□日本鳩レース協会（神港競翔連合会）

鳩の未知の力にひかれて

横山賢作〈神港競翔連合会会長〉

お坊さんから警察官まで、様々な仕事を持った人達の集まる「日本鳩レース協会」。ただ単に愛鳥家というのではなく。勝負事が好きで、レースのおもしろさや、目に見えない所から帰ってくるその鳩の不思議な力、未知の部分にひかれて集まっている。

今回は、一〇〇〇キロメートル離れた北海道の長万部（おしゃまんべ）から鳩を飛ばすため、今までの短距離のレースに勝ち抜いてきたつわものの鳩たちだけのレースだ。一〇〇〇キロメートル飛ばせるようになるまでに、鳩は約一割になってしまう。

会員は一人で約一〇〇羽の鳩を持っており、高いものでは一羽二〇〇万～三〇〇万円もする。一羽一羽、足のリングで登録されている。「日本鳩レース協会」の中の、ここ「神港競翔連合会」の特徴は……長距離に強い、品位のある人が多い…のである。今回ここからは約一〇〇羽、レースに参加する。北海道まで船で約三〇時間、近畿からは一五〇〇羽、4tトラック2台で運ぶ。

レース鳩は帰るだけの伝書鳩とは違って速さを競うのだと目を輝かせて語る会員達。すばらしいレース鳩を育てていく人達。

■連絡先／明石市大観町10-11　無量光寺内
神港競翔連合会　小川龍左右まで

mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん〈66〉

薫風にそよぐスポーツレディ

木下 千佐子さん

〈神戸女学院大学一回生 ㈱木下真珠社長木下章夫氏長女〉

千佐子様は二人のお兄様、一人の妹様に囲まれてのびのびと成長されました。恵まれた頭脳にすばらしい判断力を兼ね備えられたお嬢様です。

神戸山手女子中学の頃から声楽を学ばれ、今年憧れの神戸女学院大学音楽部声楽科に優秀な成績で入学されました。天性のソフトな音色、豊かな環境からにじみ出たと思われる御性格は、彼女の持つ音楽性の基礎となっていると思われます。

将来神戸の誇るプリマドンナとして活躍される事を期待しています。

推薦者／山本茂樹

〈山本歯科院長〉

カメラ・松原卓也

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん〈67〉

異人館に映えるしとやかレディ

森　康子〈東京海上火災神戸支店勤務　森真珠㈱森隆氏次女〉

カメラ・米田定蔵

「今日初めてお給料をいただきましたので。」と、私の大好きなお菓子を買ってこられた。今どきめずらしいほど、とてもよく気のつかれるお嬢様です。

今春、共立女子大学を卒業後、今の職場にお勤めですが、職場の花としてみなさんに愛されていらっしゃる。明るく健康的、やさしく思いやりがあり、理想的なお嫁さんタイプです。

スキーにテニス、それにミュージカルがお好きという現代的なところと、本来の日本女性のすばらしいところを兼ねそなえられた、昨今まれなレディです。

推薦者／濱根康夫
尾道造船㈱・取締役会長

新しきクリエーター

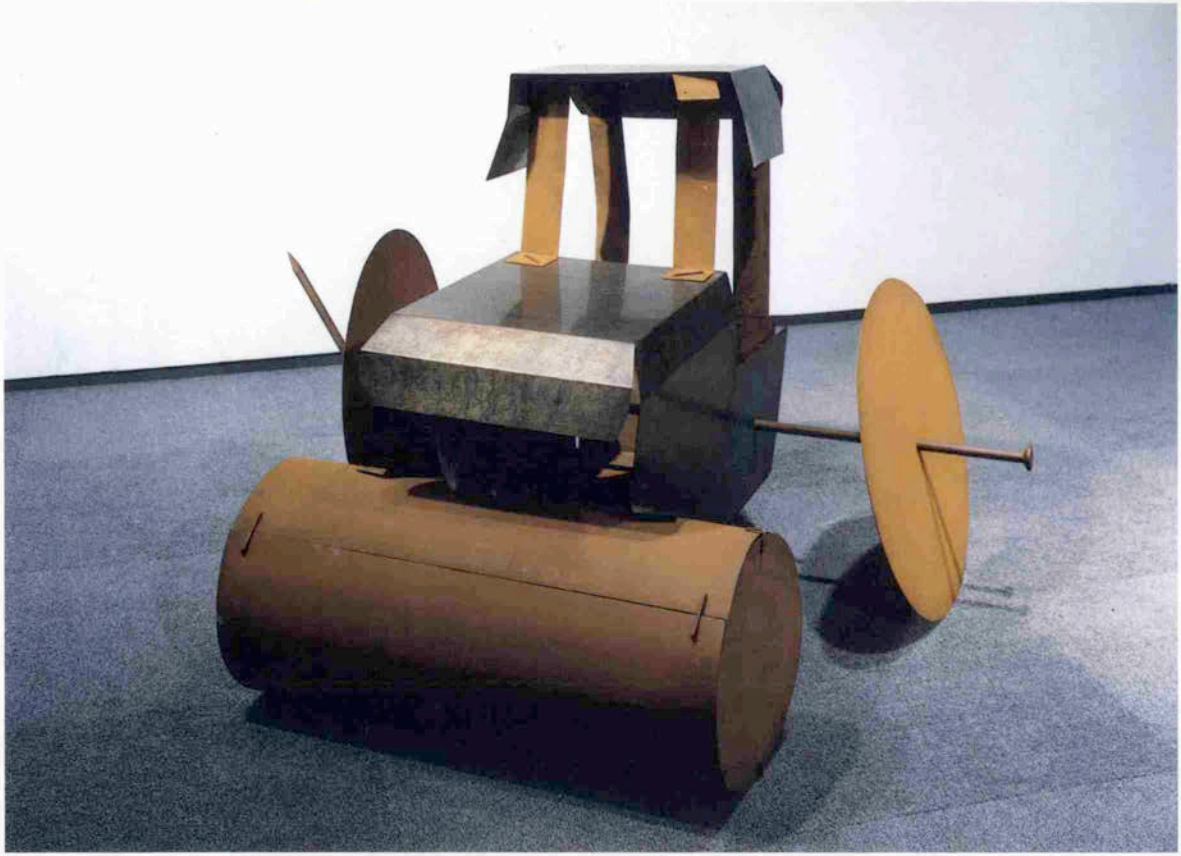
美の小箱
坂口 正之

文・赤根 和生〈美術評論家〉

彫刻の素材としては、大理石、ブロンズは古来、お決りの不朽の材質だが、前世紀から今世紀にかけて、鉄、セメント等、産業資材も貧欲にとり入れて、表現力を著るしく増幅し、加えて現代の花形たるステンレススティールの磨きあげた鏡面は周囲の環境も写しとり、アプ・トゥ・ディトな新しさを追う作家のこころを捉えてやまないものがあろう。だからこそ、そうした現実に背を向け、いや、寧ろそれに抗して、一見、地味でべこべこ薄っぺらのブリキを思わせる（実は鉄板なのだが）錆色に沈む材料に徹する坂口の子供の工作めいた制作は、却って爽やかにユニークだ。

かれは一貫してくるまをテーマにしてきたが、巷の画廊でよくみたキカン車など、あまり機能的でない車輛はすでに親しいものである。まさに「稚気堂々」ともいうべき、そのひらき直った親しみ易さは、東京芸大大学院出の超エリートだけに、よけい光る。選ばれてアート・ナウ'85には〈工作体85－3〉、記念すべき第10回現代彫刻展には巨大な〈仮設体〉ショベルカーを出品した。野外展の後者はちゃんと耐候性鋼を使用し、ぬかりない。

それにしてもなぜこうもくるまにこだわるのだろうか？ おもえば、車は火についで人類第二の発明であり、文明の推進力である。文明のシンボルでもあるくるまに挑むシニカルな反骨の姿勢は文明批評的でさえある。〝天才とは、いついかなる時でも思い起しうることも時代にほかならない。〟（ボードレール）



仮作体「87-9」1987年
坂口 正之

1979年　東京芸術大学美術学部工芸科卒業、81大学院美術研究科修了
1980年　個展 かねこ・あーとギャラリー（東京）
1983年　「第16回現代日本美術展」〔佳作賞受賞〕
1984年　「第15回日本国際美術展」〔神奈川県立近代美術館賞受賞〕
東京都美術館・京都市美術館
1986年　「現代彫刻の状況展」〈日米10人の新鋭彫刻家たち〉現代彫刻センター（東京）・'87サルバトール・アラ（ニューヨーク）
1988年　個展　信濃橋画廊（大阪）
「第6回大阪現代アートフェア'88」大阪府立現代美術センター（大阪）